

各 位

会 社 名	オンキヨー株式会社 (コード 6628)
代表者名	代表取締役社長 大舘宗徳
問合せ先	代表取締役副社長 中野宏
	TEL : 06-6226-7343

オンキヨー、トライジェンスのデジタル信号処理技術「Dnote[®]」を採用した デジタルスピーカーシステムの開発に着手

オンキヨーグループで OEM 事業を担うオンキヨーディベロップメント&マニュファクチャリング株式会社は、株式会社 Trigence Semiconductor (以下、トライジェンス)が開発したデジタル信号処理技術「Dnote[®]」を採用したデジタルスピーカーシステムの開発にこの度着手しました。

一般的なスピーカーでは、ハードディスクやフラッシュメモリーなどのデジタルメディアに記録されたデジタル信号をアナログ信号に変換し、これをアナログ増幅した信号が入力されます。これに対し、トライジェンスが開発した「Dnote[®]」により実現したデジタルスピーカーシステムは、デジタル信号が直接スピーカーに入力され、オーディオ信号を空間に放射する役割を担うことになります。

オンキヨーディベロップメント&マニュファクチャリング株式会社では、これまで培ってきた振動板の素材開発や形状のノウハウ、あらゆる分野への OEM 供給の実績により、今後更に省エネが要求されるスマートTV、パソコン、オーディオ製品をはじめとする、あらゆる用途に適したデジタル方式のスピーカーを OEM 展開していきます。

<デジタルスピーカーシステムの特徴>

■低電圧 (3.3V) でも大きな電力 (THD=1%以下)

- ・ 3.3W (6Ωx6), 2.6W (8Ωx6), 1.7W (6Ωx3), 1.3W (8Ωx3)

通常のデジタル・アンプだと 3.3V/4Ω で 1W 以下

■システム全体の高効率・低消費電力・コストダウン

- ・ 従来のアナログ IC に必要な複数の電源電圧や高電圧を必要とせず 2.5V 以下でも動作する
- ・ ポータブル機器の電池の本数を少なくすることができる
- ・ 高価な高精度アナログ IC や受動素子を減らすことができる
- ・ 「Dnote[®]」信号処理部を DSP にインテグレーションすることができる

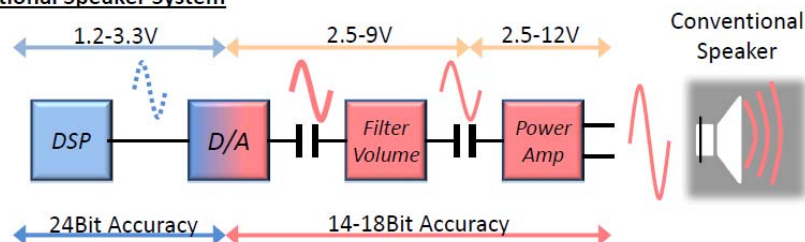
■高音質

- ・ 入力信号源からスピーカーまで 24bit 精度維持するため内部を最大 32bit で処理している
- ・ USB インターフェイスの際にクロック・ジッタの影響を低減するアシンクロナス・モードを採用している
- ・ それぞれのコイル間のミスマッチによる歪みとノイズの劣化を大きく低減する

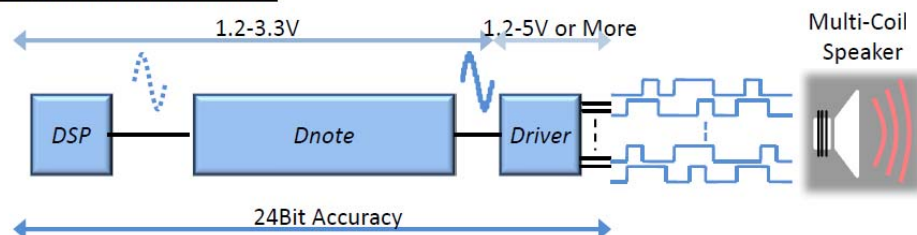
『ノイズ・シェイピング・ダイナミック・エレメント・マッチング』を内蔵している

What's Digital Speaker with Dnote

Conventional Speaker System



Digital Speaker System with Dnote



■株式会社 Trigen Semiconductor

トライジェンスは、アナログ信号とデジタル信号を互いに変換する技術、特に高精度AD/DA変換技術や高速インターフェース技術等のミックスドシグナル LSI 回路技術を専門とする企業です。これらの専門技術を広く産業界に提供することで、より付加価値の高い商品開発をサポートすることを目指しています。

URL : <http://www.trigen.co.jp/>

連絡先 : sales@trigen.co.jp

問い合わせ先

■オンキヨーディベロップメント&マニュファクチャリング株式会社

営業部企画課 津田 伸

連絡先 : shin.tsuda@jp.onkyo.com

・商標について Dnote[®]は、株式会社 Trigen Semiconductor の商標または登録商標です。